

第71期中間事業のご報告

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)



HOKUSHIN REPORT

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜わり、心より厚くお礼申し上げます。
ここに第71期中間期の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、インバウンド需要の減少や世界経済の下振れを背景に、緊急事態宣言解除後の6月からは外出自粛緩和などにより景気の持ち直しに向けた動きはみられるものの、国内の消費マインドは依然として低く、大幅な落ち込みとなりました。

当社と関係の深い住宅業界におきましては、住宅取得に伴う政府の補助金や減税などの優遇制度延長及び住宅ローン低金利といった背景はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡散防止対策の影響で住宅関連各社の営業活動自粛や消費マインドの冷え込みにより住宅市場を取り巻く環境は悪化しました。新設住宅着工戸数は持ち家を中心に減少し、4月から9月の累計で、前年比11.3%減少となりました。

当第2四半期累計期間の当社業績につきましては、生産面において原油価格の下落によるエネルギー単価の低下及び、需給の緩みによる原材料単価の低下に加え、4月より導入した木質チップ異物除去装置の本格稼働により、原材料費や製造経費の抑制に効果を発揮しましたが、新設住宅着工戸数が減少した影響を受け、主力である建材用途製品及びフローア材用途製品の販売量が減少し、また家具用途主体の輸入商品も市況悪化に伴い販売量が減少となり、売上・利益ともに昨年の水準を下回るものとなりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は44億44百万円(前年同期比18.1%減)、営業損失は37百万円(前年同期は営業利益1億35百万円)、経常損失は4百万円(前年同期は経常利益1億48百万円)、四半期純損失は8百万円(前年同期は88百万円の四半期純利益)となりました。



株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き温かいご支援とご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

2020年11月

代表取締役社長
入野哲朗

私たちは、持続的な地球環境保全のために、継続的改善を通して、お客様が満足し、社会に貢献する製品の安定供給を実現します。

新規設備導入

～木質チップとの比重の差で異物を取り除く比重差選別機～

MDFの主原料である木質チップには金属片や石、ゴミ片等が含まれることがあります。これらは製造設備の故障や不良品の原因となりますが、当社の設備では除去が困難を極めました。今期、木質チップとの比重の差で異物を取り除く比重差選別機を導入・本稼働させ、不良率の低減、製造設備の延命化、廃棄木質ファイバーの減少等によりコストの削減に効果を発揮しております。また、原材料確保のためマレーシア半島での集材範囲を拡張しておりますが、その中に異物の混入した木材チップがあり、生産に影響がある恐れがありまし

た。比重差選別機を用いることで製品品質を落とすことなく使用することができるため、原材料確保・安定化にも寄与しております。

<比重差選別機>



<異物のイメージ>



金属片

製品改良・新規用途開発

～針葉樹タイプの耐水MDFの開発～

建材メーカー各社はラワン合板の高騰や国策としての国産材利用促進を受け、ラワン合板によるフロー台板の代替品として国産針葉樹合板への切り替えを加速しています。それに伴い表面材として耐水MDFの需要が拡大しているため、当社では針葉樹タイプのMDFを製品改良し、淡色のフロー用途に使用可能なスペックの製品を開発いたしました。

～屋根下地用途～

構造用スターウッドの新たな用途として、屋根下地への利用拡大に注力しております。MDFの透湿性の高さを生かし、住宅の長寿命化への意識の高いビルダー様

から提案を進めておりますが、すでに多くの反響が得られております。小屋裏の結露対策に悩むビルダー様は多く、また屋根施工の省力化にも寄与することから、「屋根下地用スターウッド」は幅広いユーザーに対し、貢献できる製品になるものと考えます。

<屋根下地用スターウッド施工の様子>



継続は力なりを実証！「ホクシン流」省エネ活動

～木材資源とエネルギーの有効活用～

資源エネルギー庁 事業者クラス分け評価制度で4年連続Sクラスの省エネ認定が評価され、経済産業省近畿経済産業局が発行している「多様な視点で成果を上げる省エネ事例集」に当社の“木質バイオマスボイラーによ

るサーマルリサイクル”、“廃棄材のマテリアルリサイクル”、“ガスコジェネレーションによる発電と熱利用”が紹介されました。

業績ハイライト

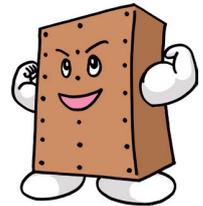
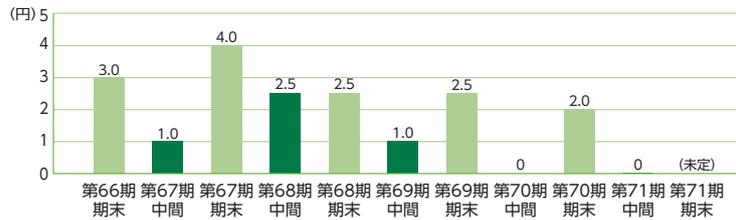
1株当たり四半期純利益 ■期末 ■中間



1株当たり純資産 ■期末 ■中間



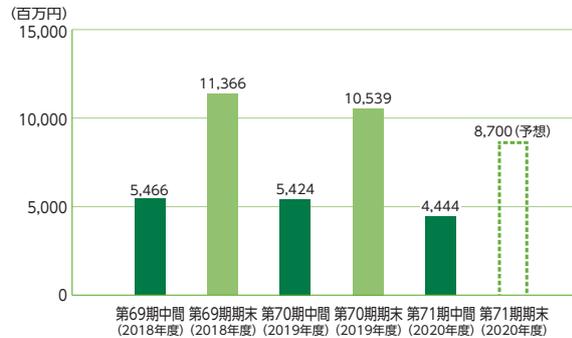
配当推移



決算の概要

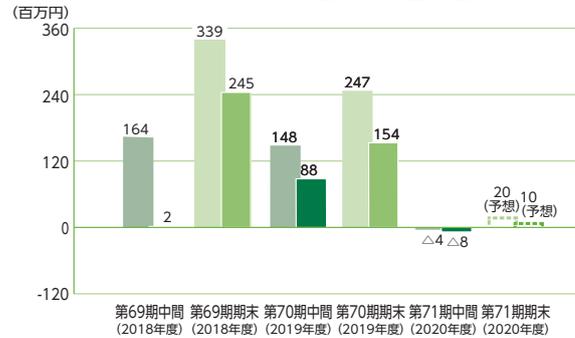
売上高44億44百万円

売上高 ■期末 ■中間



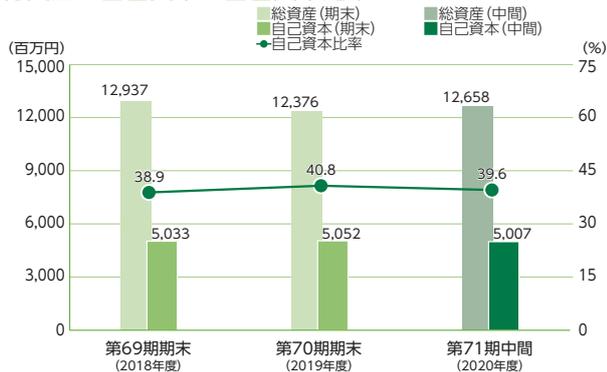
経常利益△4百万円 四半期純利益△8百万円

経常利益／四半期純利益 ■経常利益(期末) ■経常利益(中間)
■純利益(期末) ■純利益(中間)



自己資本比率39.6%

総資産／自己資本／自己資本比率



会社の概要と株式の状況 (2020年9月30日現在)

特別口座 (注) で株式をご所有の株主の皆様へ

単元未満株式の買取請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求をすることができます。三井住友信託銀行株式会社 証券代行部より「単元未満株式買取請求書兼買取請求書」を受け取り、必要事項をご記入、お届出印をご押印のうえ、ご提出ください。

特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。さまざまなお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。三井住友信託銀行株式会社 証券代行部より「口座振替申請書」を受け取り、必要事項をご記入、お届出印をご押印のうえ、ご提出ください。

(注) 特別口座とは、株券の電子化に伴って、ほふり(証券保管振替機構)に預託されていない株式の権利を保全することを目的に、開設された口座のことです。

お手続きの詳細は、下記のお問い合わせ先にご確認ください。

(お問い合わせ先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)

会社概要

設 立	1950年6月21日
資 本 金	2,343百万円
本 社 ・ 工 場	〒596-8521 大阪府岸和田市木材町17番地2
事 業	MDFの製造及び売買
主要取引先	大建工業株式会社 株式会社LIXIL 双日建材株式会社 SMB建材株式会社 株式会社ウッドワン 兼松ケミカル株式会社

役員

代表取締役社長	入 野 哲 朗
取 締 役	寺 田 恭 久
取 締 役	高 橋 英 明
取 締 役	永 田 武
取 締 役	島 田 宏
取 締 役	太 田 励
取 締 役	村 松 陽 一 郎

- (注) 1. 入野哲朗、寺田恭久、高橋英明の3氏は、執行役員であります。
2. 取締役 永田武、島田宏、太田励、村松陽一郎の4氏は、社外取締役であります。
3. 取締役 島田宏、太田励、村松陽一郎の3氏は、監査等委員であります。
4. 取締役 太田励氏及び村松陽一郎氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。

執行役員

C&H(株) 取締役	西 田 文 雄
企画室長兼 営業業務部長	廣 田 昌 俊

株式の状況

発行可能株式総数	99,713,700株
発行済株式の総数	28,373,005株 (自己株式20,413株を含む)
単元株式数	100株
中間期末株主数	5,150名 (前期末比27名減)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
兼 松 株 式 会 社	7,522	26.53
大建工業株式会社	4,227	14.91
MSIP CLIENT SECURITIES	1,795	6.33
國 分 哲 夫	1,423	5.02
永大産業株式会社	1,000	3.53
ホクシン取引先持株会	880	3.11
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	663	2.34
㈱日本カストディ銀行(信託口)	643	2.27
株式会社池田泉州銀行	430	1.52
ホクシン従業員持株会	386	1.36

(注) 上記大株主の國分哲夫氏は、2019年7月18日に逝去されましたが、2020年9月30日現在において名義書換未了であったため、同日現在の株主名簿上の名義で記載しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会 毎年6月中に開催

基準日 (1)定時株主総会・期末配当 3月31日
(2)中間配当 9月30日
その他必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定める。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店
及び全国各支店で行っております。

公告方法 当社の公告はホームページに掲載する。
ホームページアドレス
<http://www.hokushinmdf.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所第1部

「中間事業のご報告」について

株主の皆様には、従来、年2回「事業のご報告」・「中間事業のご報告」と題した冊子をご送付しておりましたが、第65期より中間期(第2四半期)につきましては冊子を作成せず、当社ホームページに掲載することといたしました。

なお、通期につきましては冊子をご送付申しあげております。何卒ご了承賜われますようお願い申し上げます。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。